

お米の直接販売に伴う「ロット調査」実施マニュアル

令和8年5月：秋田県水田総合利用課

「あきたこまちR」以外のお米をJA・主食集荷商業協同組合加入業者以外の集荷業者や消費者に直接販売する場合は、ロット調査による出荷前の自主分析が必要です。

1 検査ロットの編成

- 基本ルール：品種、等級、包装が同じものを、玄米カドミウム濃度のばらつきが少ないと考えられるほ場・地域単位にまとめます。

紙袋 30kg



1ロットあたり
最大150袋

フレコン 1,020kg



1ロットあたり
最大4袋

2 試料採取（お米の取り出し方）

	紙袋(30kg)	フレコン(1,020kg)
採取する袋数	袋数の平方根($\sqrt{\quad}$)の数以上を無作為に抽出	すべてのフレコンから採取
採取量・方法	各袋から10~15gずつ穀刺で採取し混合	採取位置および層が特定の場所に偏らないよう配慮し、100g程度採取し混合
使用器具	穀刺	フレコン用二重管穀刺等

採取数早見表(紙袋用)

1ロットあたり袋数	~6	~12	~19	~29	~41	~55	~71	~89	~109	~131	~150
平方根	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

3 分析機関例

業者名	郵便番号	住所	TEL	FAX
株式会社秋田県分析化学センター	010-0975	秋田市八橋字下八橋191-42	018-862-4930	018-862-4028
株式会社秋田分析コンサルタント	010-0913	秋田市保戸野鉄砲町10-11	018-896-7032	018-896-7033

※分析金額は5,000円~10,000円程度。詳細は個別に電話等で問い合わせてください。

※このマニュアルの画像等の一部はGeminiにより生成しています